

○ 2 2 年産夏秋野菜の需給・価格の見通しについて (概要)

資料2-2

品目 (出荷期間)	これまでの足取り	今後の見通し	見通しの説明	
	卸売数量及び価格 (東京都中央卸売市場 4/1~7/10)	第7回野菜需給・価格情報委員会 (22.7.8)での需給・価格の見通し	供給 (生産・出荷の現況及び今後の天候見通し)	需要
夏秋キャベツ (7~10月)	<p>このチャートは、夏秋キャベツの卸売数量（緑色の棒グラフ）と卸売価格（青い線）、平均価格（赤い線）、指標価格（黄色い線）を示しています。横軸は4/1から7/5までの日付、縦軸は数量（0-250）と価格（0-1400）を示しています。</p>	<p>1 供給見通し</p> <p>①作付面積は、微増。 ②生育状況は、3~4月の天候不順の影響でやや遅れたが回復傾向。 ③今後、気象が平年並に推移すれば、前年を上回る可能性が高い。</p> <p>2 需要・価格見通し</p> <p>○価格は、前年より低めで推移する可能性が高い。</p>	<p>(主な産地：群馬、長野、北海道)</p> <p>1 作付面積は、全体に微増。3~4月の天候不順もその後回復傾向であるので、出荷見通しは前年、平年を上回る見通し。 (資料2-5、1~2ページ)</p> <p>2 この先1ヶ月の気象予報は、気温は平年並みかやや高め、日照時間は平年並み、降水量は概ね平年並みの見込み。 (資料2-3、4~6ページ)</p>	<p>キャベツの購入数量と小売価格の対前年同月比</p> <p>このチャートは、キャベツの購入数量（青い線）、購入金額（赤い線）、小売価格（緑色の線）の対前年同月比を示しています。横軸は6月（前年）から5月（今年）までの月、縦軸は%（-60.0~60.0）を示しています。</p> <p>資料：家計調査報告、小売物価統計(総務省)</p>
たまねぎ (7~10月)	<p>このチャートは、たまねぎの卸売数量（緑色の棒グラフ）と卸売価格（青い線）、平均価格（赤い線）、指標価格（黄色い線）を示しています。横軸は4/1から7/5までの日付、縦軸は数量（0-180）と価格（0-1400）を示しています。</p>	<p>1 供給見通し</p> <p>○作付面積は、全国的に前年並。 生育状況は、北海道で1週間から10日ほど天候不順により遅れ気味であるが、回復傾向にある。</p> <p>2 需要・価格の見通し</p> <p>①府県産は小玉傾向にあるものの、全国的に見れば平年並みの出荷が見込まれる。 ②価格は、平年並みと見込まれる。</p>	<p>(主な産地：北海道、佐賀、兵庫)</p> <p>1 作付面積は、佐賀はやや増加し、兵庫はやや減少しているため、全体としては前年並み。生育は佐賀、やや遅れたが回復傾向。出荷は平年を上回る見込み。 (資料2-5、3~4ページ)</p> <p>2 北海道産は昨年夏の天候不順による不作傾向から、平年より7~10日遅れているが、出荷は9月以降平年を上回る見込み。 (資料2-5、4ページ)</p> <p>3 この先1ヶ月の気象予報は、気温は後半は前年より高め、日照時間は平年並み、降水量はやや少なくなる見込み。 (資料2-3、18~21ページ)</p>	<p>たまねぎの購入数量と小売価格の対前年同月比</p> <p>このチャートは、たまねぎの購入数量（青い線）、購入金額（赤い線）、小売価格（緑色の線）の対前年同月比を示しています。横軸は6月（前年）から5月（今年）までの月、縦軸は%（-10.0~35.0）を示しています。</p> <p>資料：家計調査報告、小売物価統計(総務省)</p>
夏だいこん (7~9月)	<p>このチャートは、夏だいこんの卸売数量（緑色の棒グラフ）と卸売価格（青い線）、平均価格（赤い線）、指標価格（黄色い線）を示しています。横軸は4/1から7/5までの日付、縦軸は数量（0-160）と価格（0-700）を示しています。</p>	<p>1 供給見通し</p> <p>①作付面積は、北海道を中心に微増。 ②生育状況は、北海道で低温や降雨により、播種が遅れ平年より遅れているが、回復傾向。 ③今後、気象が平年並に推移すれば、平年並みの出荷が見込まれる。</p> <p>2 需要・価格見通し</p> <p>①価格は、出荷増により前年を下回ることが見込まれる。 ②連作障害による品質低下が生じていることに留意する必要がある。</p>	<p>(主な産地：北海道、青森、岐阜)</p> <p>1 作付面積は、ホクレンは微増、その他は前年並み、生育は年明け後に低温等によりホクレン、岐阜では生育遅れも、青森ではほぼ回復し、出荷は全体では前年を上回り、平年を下回ることが見込まれる。 (資料2-5、5~6ページ)</p> <p>2 この先1ヶ月の気象予報は、気温は後半は平年より高め、日照時間は平年並み、降水量はやや少ない見込み。 (資料2-3、30~35ページ)</p>	<p>だいこんの購入数量と小売価格の対前年同月比</p> <p>このチャートは、だいこんの購入数量（青い線）、購入金額（赤い線）、小売価格（緑色の線）の対前年同月比を示しています。横軸は6月（前年）から5月（今年）までの月、縦軸は%（-40.0~40.0）を示しています。</p> <p>資料：家計調査報告、小売物価統計(総務省)</p>

品目 (出荷期間)	これまでの足取り	今後の見通し	見通しの説明	
	卸売数量及び価格 (東京都中央卸売市場 4/1~7/10)	第7回野菜需給・価格情報委員会 (22.7.8)での需給・価格の見通し	供給 (生産・出荷の現況及び今後の天候見通し)	需要
秋にんじん (8~10月)		<p>1 供給見通し</p> <p>①作付面積は、前年並。 ②生育状況は、中心となる北海道で、低温や降雨により、平年より5~10日程度遅れているが、回復が見込まれる。 ③今後、気象が平年並に推移すれば、お盆明け以降、出荷量が増える可能性がある。</p> <p>2 需要・価格見通し</p> <p>①需要面では、加工用の需要が増加することが見込まれる。 ②価格は、7~8月中頃までは、堅調に推移するものと見込まれるが、お盆明け以降、特に9月に入り、厳しい状況となることが見込まれる。</p>	<p>(主な産地：北海道、青森)</p> <p>1 作付面積は、概ね前年並み、ホクレンは微増、生育は、ホクレンでは低温等により1週間程度遅れたが、青森は平年並み、出荷見通しは全体では前年及び平年を上回ると見込まれる。 (資料2-5、7~8ページ)</p> <p>2 この先1ヶ月の気象予報は、気温は平年並みかやや高め、日照時間は平年並み、降水量はやや少ない見込み。 (資料2-3、42~46ページ)</p>	<p>にんじんの購入数量と小売価格の対前年同月比</p> <p>資料：家計調査報告、物価小売統計(総務省)</p>
夏はくさい (7~10月)		<p>1 供給見通し</p> <p>○夏はくさいの需要のほとんどがつけもの加工用であり、つけもの需要が減少する中で、作付面積は、減少傾向にあるものの、生育状況の遅れが回復していることもあまって、出荷量は前年並、特に9月には平年並みにまで回復することが見込まれる。</p> <p>2 需要・価格見通し</p> <p>①価格は高くても前年並みであり、前年を下回ることも見込まれる。 ②今後は、加工用・業務用の需要に対する需給バランスの確保(計画生産)がより一層重要となる。</p>	<p>(主な産地：茨城、長野)</p> <p>1 作付面積は減少傾向、生育は3、4月は遅れたものの、6月の好天により回復傾向、出荷量は前年並みで平年を下回るが、天候が順調に推移すれば9月は平年並みの出荷量と見込まれる。 (資料2-5、9~10ページ)</p> <p>2 この先1ヶ月の気象予報は、気温はやや高め、日照時間、降水量は平年並みの見込み。 (資料2-3、54~56ページ)</p>	<p>はくさいの購入数量と小売価格の対前年同月比</p> <p>資料：家計調査報告、小売物価統計(総務省)</p>
夏秋レタス (7~10月)		<p>1 供給見通し</p> <p>①作付面積は、前年並。 ②生育状況は、遅れていた長野県が回復し、順調。 ③今後、気象が平年並に推移すれば、出荷量は回復し前年を上回り、平年並みの出荷が見込まれる。</p> <p>2 需要・価格見通し</p> <p>○価格は、8月は前年を下回るものの、9月以降は前年を上回る可能性が有る。</p>	<p>(主な産地：長野、北海道、群馬)</p> <p>1 作付面積は、減少傾向、長野では微増、生育は春の天候不順により遅れが見られたが回復傾向、天候不順で出荷が減少した前年を上回り平年並みの出荷が見込まれる。 (資料2-5、11~12ページ)</p> <p>2 この先1ヶ月の気象予報は、気温はやや高め、日照時間は平年並み、降水量はやや多い見込み。 (資料2-3、64~66ページ)</p>	<p>レタスの購入数量と小売価格の対前年同月比</p> <p>資料：家計調査報告、小売物価統計(総務省)</p>